

「ありがとう」や「ごめんなさい」を素直に言うことができる。

カリキュラムNo.55…やさしい子ども…

## 思いやりのあることばを言おう

4月  
桜台小学校

### ☆視点に関わる就学前の状況 ☆

入学したばかりの児童にとって、新たな発見や学びがある学校の生活は、不安と喜びでいっぱいである。学校は、学習をしたり、先生や友だちなどと関わり合ったりする場であることに気づかせ、入学当初の不安を取り除くとともに、期待をいっそうふくらませることが大切である。そして、先生や友だちとの関わりを広げたり深めたりするためにコミュニケーションをとることで、学校の生活をより楽しくしようとする態度を育てる必要がある。

### ☆ 接続期の状況 ☆

指 導 内 容	子どもの姿・子ども同士のかかわり
<p>がっこうだいすき《4月》道徳・日常の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校生活の様々な場面を思い描き、楽しさに気持ちを向けるとともに、ルールを守ったり進んで活動したりすることで、より楽しい学校生活を送ることができることを自覚することができる。</li> <li>今までの生活と学校での生活の違いについて話し合う。</li> <li>入学してから今までに体験した学校での活動についてうれしかったことについて想起させる。</li> <li>学級をよくするためにどんなことができるか、役割演技をしながら考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校と幼稚園や保育園は、どんなところが違うか発表する。 ○校舎が広くて大きい。 ○先生やお友だち、お兄さんやお姉さんがたくさんいる。</li> <li>入学してから、どんな活動をして、どんな気持ちになったか考える。 ○6年生がお世話してくれてうれしかった。 ○お友だちがたくさんできてうれしい。</li> <li>学級をよくするために、どんなことができるか考える。 ○お友だちにやさしくする。 ○うれしいことをしてもらったら、「ありがとう」と言う。 ○悪いことをしたときやルールを守らなかったときには「ごめんなさい」と言って謝る。</li> </ul>
<p>思いやりのあることばを言おう《4月》学級活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>友だちに一言を添えて行くと気持ちがよいことに気付き、実践しようとする。</li> <li>毎日配布されるプリントを後ろの人に渡すときに、「どうぞ」「ありがとう」と言う練習をする。</li> <li>友だちに助けてもらったり手伝ってもらったりしたら、どうしたらいいのか考える。</li> <li>友だちとのトラブルのときには、どのように解決したらいいか話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>思いやりのある言葉を添えることで、お互いに気持ちよく生活できることに気付かせる。</li> <li>友だちにうれしい気持ちを伝えるために、「ありがとう」と自分から素直に言えるように練習する。</li> <li>自分の言いたいことを伝え、自分に非があった場合には心から「ごめんなさい」と素直に謝ることの大切さに気付かせる。</li> </ul>

「ありがとう」「ごめんなさい」とすぐに言える児童と、自分から素直に言えない児童がいる。「ありがとう」「ごめんなさい」は、友だちとコミュニケーションを図る上で必要な言葉であることに気付かせ、役割演技を通して友だちとさらに仲良くするための言葉だということを自覚させる。

### ☆ 考 察 ☆

家庭環境やその子自身の性格などにもよるが、なかなか自分の非を認めようとならない児童もいる。大勢の中で生活していく上で、「ありがとう」や「ごめんなさい」は人間関係をよくする言葉であることに気づかせながら、素直に言えた児童を認めていく。いろいろな場面で、進んで思いやりのあることばを言えるように取り組んでいく。